

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公開番号】特開2012-254905(P2012-254905A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2011-129646(P2011-129646)

【国際特許分類】

C 04 B 28/02 (2006.01)

C 04 B 22/06 (2006.01)

C 04 B 40/02 (2006.01)

A 01 G 1/00 (2006.01)

C 04 B 14/02 (2006.01)

【F I】

C 04 B 28/02

C 04 B 22/06 Z

C 04 B 40/02

A 01 G 1/00 303 A

C 04 B 14/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも、アルカリ骨材反応性を有する骨材と、アルカリ性物質とを配合して、混練する工程を含む自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項2】

表層の炭酸化処理を行う工程を含む請求項1記載の自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項3】

アルカリ骨材反応性を有する繊維部材を配合する請求項1又は請求項2記載の自己崩壊性コンクリート製造方法。

【請求項4】

アルカリ骨材反応性を有する骨材を含有し、内部のpHが12~14である自己崩壊性コンクリート。

【請求項5】

表層における炭酸カルシウム含有量が3~100%である請求項4記載の自己崩壊性コンクリート。

【請求項6】

アルカリ骨材反応性を有する繊維部材を含有する請求項4又は請求項5記載の自己崩壊性コンクリート。

【請求項7】

請求項4~請求項6のいずれか一項記載の自己崩壊性コンクリートで形成された植生基盤。

【請求項8】

請求項 4 ~ 請求項 6 のいずれか一項記載の自己崩壊性コンクリートを植生基盤として用いる植物増殖方法。